



訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
26	図 3	 <p>牛乳</p>	 <p>牛乳</p>

訂正箇所		原 文
ページ	行	
36	図 26 キャブ ション	<p>▲図26 水に同じ割合で熱を加えたときの状態と温度変化 固体が融解する温度を融点<small>ゆうてん</small>という。液体の表面だけではなく、内部からも蒸発が起<small>おこ</small>る現象が沸騰<small>ふいとう</small>であり、このときの温度が沸点<small>ふいとうてん</small>である。また、液体が凝固する温度が凝固点<small>きうこくてん</small>であり、純物質では融点と等しい。物質の融解や沸騰が起<small>おこ</small>っている間は、温度は一定に保たれる（圧力は 1.01×10^5 Pa で一定とする）。</p>

訂正箇所		訂 正 文
ページ	行	
36	図 26 キャブ ション	<p>▲図26 水に同じ割合で熱を加えたときの状態と温度変化 固体が融解する温度を融点<small>ゆうてん</small>という。液体の表面だけではなく、内部からも気体が発生する現象が沸騰<small>ふっとう</small>であり、このときの温度が沸点<small>ふってん</small>である。また、液体が凝固する温度が凝固点<small>きようこてん</small>であり、純物質では融点と等しい。物質の融解や沸騰が起きている間は、温度は一定に保たれる(圧力は 1.01×10^5 Pa で一定とする)。</p>

訂正箇所		原 文	訂 正 文						
ページ	行								
41	中部	<table border="1"><tr><td>検出する元素</td></tr><tr><td>塩素 Cl</td></tr><tr><td><u>炭素 C と酸素 O (CO₂)</u></td></tr></table>	検出する元素	塩素 Cl	<u>炭素 C と酸素 O (CO₂)</u>	<table border="1"><tr><td>検出する元素</td></tr><tr><td>塩素 Cl</td></tr><tr><td><u>炭素 C (CO₂)</u></td></tr></table>	検出する元素	塩素 Cl	<u>炭素 C (CO₂)</u>
検出する元素									
塩素 Cl									
<u>炭素 C と酸素 O (CO₂)</u>									
検出する元素									
塩素 Cl									
<u>炭素 C (CO₂)</u>									